

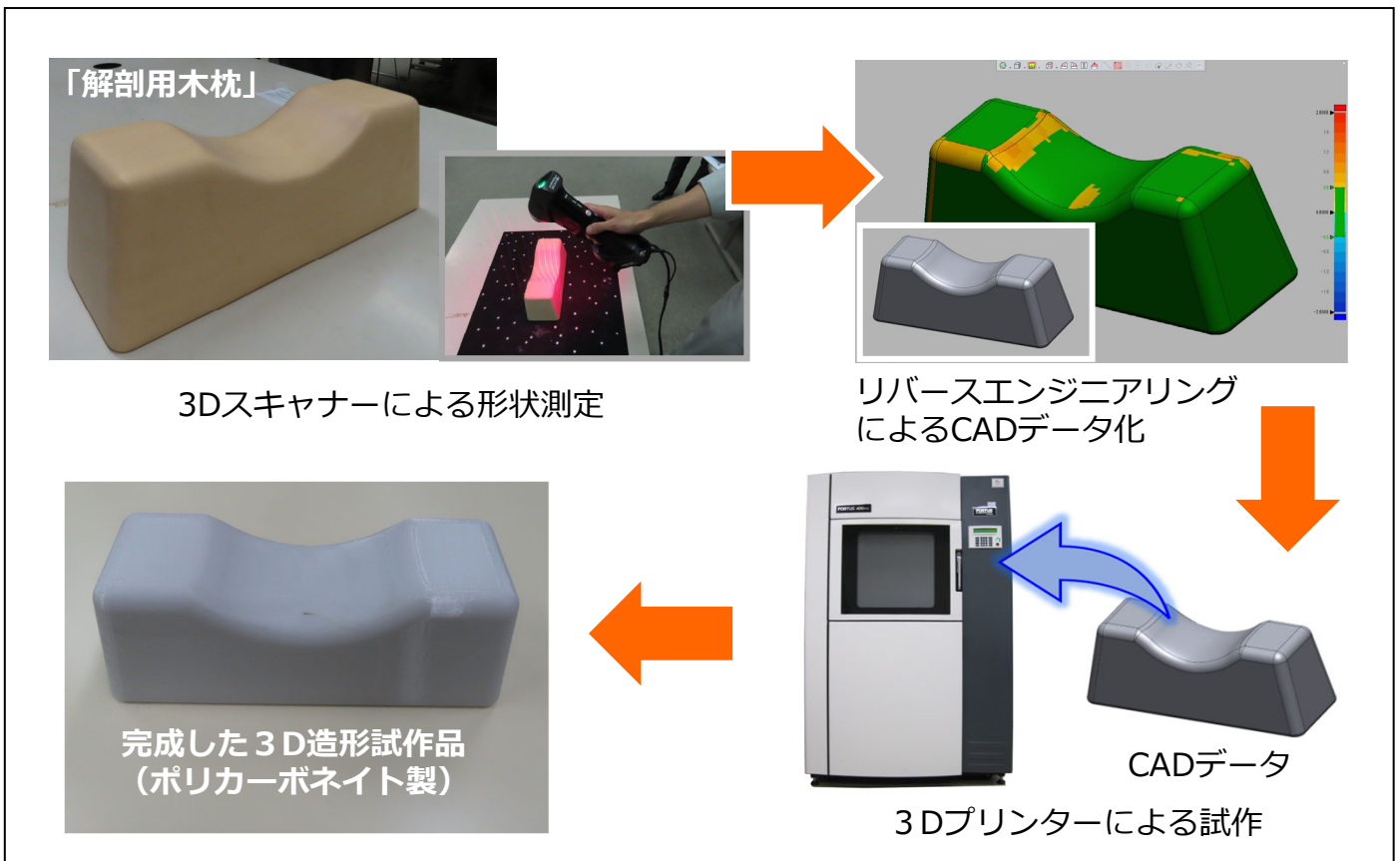
3Dものづくり技術を用いた解剖用枕の製作支援

■支援の概要

遺体の解剖手術の際、頭部の支えに使用される「解剖用木枕」は、イメージスケッチを元に木工職人のハンドメイドで製造されています。このため、破損時の交換品の提供や、突発的な発注に対して、迅速な対応が困難でした。また、近年、木工職人の減少も課題となっています。そこで、解剖現場への安定した迅速な製品供給を実現するため、3D造形による製造法を確立する支援を行いました。

■支援の項目

- ①3Dスキャナーによる「解剖用木枕」の形状測定
- ②リバースエンジニアリング技術による形状測定データの3D-CADデータ化
- ③作成した3D-CADデータを用いた3Dプリンターによる「解剖用枕」の試作



■支援の成果

- ①本支援により、製作に数週間を要した木製に比べて、約1日での製作を実現しました。
- ②製品形状がCADデータ化されたことで、製品の安定供給が可能になりました。
- ③令和5年2月に商品化が決定しました。